

# 会 議 録

会議の名称	守谷市図書館協議会（令和6年度 第1回）		
開催日時	令和6年6月21日（月） 開会：10時00分 閉会：11時40分		
開催場所	守谷中央図書館 3F 集会室1		
事務局（担当課）	教育委員会 中央図書館		
出席者	委員	長谷川委員長、野口副委員長、井上委員、吉澤委員、赤堀委員、川畑委員、堀越委員、赤山委員、広永委員 (出席：9名)	
	その他	監査委員事務室代表 野元主任(監査委員指示による)	
	事務局	平塚館長、柳葉副館長	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
公開不可の場合はその理由			
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 委嘱状交付（新任委員1名） 4 自己紹介 5 協議内容 (1) 守谷中央図書館大規模改修工事基本設計の進捗について (2) その他 6 閉会		
確定年月日	会議録署名		
令和6年8月19日	長谷川 登代		

## 審 議 経 過

### 1 開 会

柳葉副館長 9名の委員が出席、守谷市図書館協議会設置条例第6条第2項の規定により会議は成立。傍聴者は1名。

### 2 挨拶 長谷川委員長

### 3 委嘱状交付 新委員1名 吉澤 寛子 氏

### 4 自己紹介 各委員、事務局

### 5 協 議

#### (1) 守谷中央図書館大規模改修工事基本設計の進捗について

長谷川委員長：協議(1)守谷中央図書館大規模改修工事基本設計の進捗について、事務局から説明をお願いします。

—平塚館長から基本設計の進捗について、資料を基に説明—

吉澤委員：ワークショップ時に正面入口付近ロッカーの数や大きさについて意見が出たのでしょうか。私は、ロッカーを使用したことがないのですが、利用状況について、お聞きしたい。

平塚館長：特に意見は出ませんでした。現状のロッカーは、コイン式ですが使用後に返金されるタイプのものですが、使用できない箇所もあり、利用状況については、ごく限られた方の利用になっております。しかし、他の図書館でも、このタイプを使用している図書館がほとんどであり、当図書館の改修後についても、現段階では、撤去は考えておりません。現在の形式に近いものを設置する方向で考えております。

吉澤委員：ご意見の中で、図書館に対するニーズが、単に貸出・返却業務だけではなく、学習・休憩・コミュニケーションの場としての要望があり、市民の憩いの場所のような公民館的な居場所として求めている方が多い印象を持ちました。このように、長時間滞在することを考えると、ロッカーが必要になるのではないかと思いましたので、このような質問をさせていただきました。

平塚館長：近年では、複合施設に図書館が併設され、中にはカフェが設置されている図書館が増加しています。これは、図書館へ訪れる方の目的が、学習や情報収集だけでなく、長時間滞在できる場所の要望があることから、休憩コーナーを拡充したいと考えております。

野口副委員長：第1回目のワークショップについて、幅広い年齢層の方が参加さ

れたとお聞きしました。参加人数や詳細についてお聞かせください。

平塚館長：15名の参加があり、5人ずつ3グループに分かれて実施し、各グループの進行役は、図書館職員及び設計事務所社員が進行しました。

赤山委員：ラーニングコモンズとサイレントスペースが隣り合っているの  
で、位置関係が気になります。ラーニングコモンズでの活発な会  
話や活動がサイレントスペースへ与える影響はないのかどうか。  
できれば、ラーニングコモンズとサイレントスペースが隣り合わ  
せでない方が良くもかもしれません。

次に、改修後に開架スペースの資料数が増加するのか。また、  
閉架資料が減少してしまうのか。現段階で、計画などがあれば聞  
かせていただきたい。

平塚館長：現段階では、2階の開架資料は、減らす予定はなく、むしろ増加  
する予定です。

赤山委員：図書館資料は、税金で購入したものであり財産である。特に、視  
聴覚資料において、所蔵している資料が使用できるかどうかも重  
要であり、引き続き閲覧できる機器も含め、使用できる状態で所  
蔵及び管理をしていただきたい。

川畑委員：この先、30、40年先のことを考えることも大切な事ですが、  
ここ10年先のことも考えてもらいたい。今日も雑誌・新聞コー  
ナーのソファが既にシニア層で埋まっていた。家で新聞を取らな  
くなった友達も多く、そういう方たちにとっては図書館こそが救  
いの場なのではないか。これからしばらくの間は、まだまだこの  
現在の利用が続いていくと思う。

また、サイレントスペースについて、学習スペースとどのような  
違いがあるのでしょうか。防音設備が整っている部屋ではないの  
ですか。

平塚館長：サイレントスペースは、防音設備が整っている部屋ではありません。  
また、「音を出してはいけない」ということではなく、静かに  
集中して学習したい方向けの部屋として、学習スペースと分け  
ています。

野口副委員長：館内で会話ができる図書館は、サイレントスペース(ルーム)を設  
置している。守谷の図書館もその方向で現段階は考えているとい  
うことで良いか。

平塚館長：ワークショップの時にそのような案があるが、どう考えるかご意  
見をいただいたところ、特に、否定意見はなく、肯定的な意見が  
複数あった。設置の方向で考えていきたい。

野口副委員長：今後、約30年後までの想定し、新たな時代のサービスを考え、それに対応できるコーナーの配置を考える必要がある。例えば、新聞・雑誌などは電子化され、紙媒体の提供数が少なくなることも予想される。その場合に、AVコーナーとの関係性も出てくるのではないかと思うが、素案においては雑誌・新聞コーナーとAVコーナーの位置が離れている。ADECを含め電子資料閲覧のため、貸出用のタブレットなどの配備も考えられる。

長谷川委員長：約30年先まで考えることについて、サービスやシステム的なものは、時代の変化を考慮し数年ごとに更新していかないといけない。

赤山委員：DX化等に伴い、年配の方がついていけなくならないよう、情報弱者のためのサービスも考えていく必要があると思う。図書館だからこそそのサービスを継続していく必要がある。

川畑委員：対面朗読室の設置予定はありますか。

平塚館長：対面朗読に対応できるボランティアが現在はいないため、現時点では、設置予定はございません。しかし、音訳・朗読ボランティアが利用できる簡易な録音ブースのようなものを事務室に設置したいと考えています。

赤山委員：伊万里市の図書館は、曜日限定だが障がい者が働くカフェがあり、カフェでなくても、障がい者が作った食べ物を販売することなども考えられるので、ご検討いただきたい。

広永委員：ラーニングコモンズなどの新しい空間を取り入れていて良いと思う。マルチパーパスも運用次第で色々なことができると思うので楽しみです。

平塚館長：マルチパーパスを有効活用して欲しい。ワークショップ意見にカフェの設置や食べ物が購入できると良い、キッチンカーなどの意見もある。カフェ設置は難しいと思うが、食品の販売をしてくれる業者等もあると思う。

## (2) その他

・令和6年度の図書館協議会の会議日程について

令和6年度の会議予定：第二回目を8月下旬頃に、第三回目を10月下旬頃、第四回は、2月下旬に開催する予定。令和6年度の審議内容は、改修工事設計概要が主となるため、視察研修はなしと柳葉副館長より報告あり。

## 6 閉 会

柳葉副館長：それでは、以上をもちまして本日の図書館協議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。